



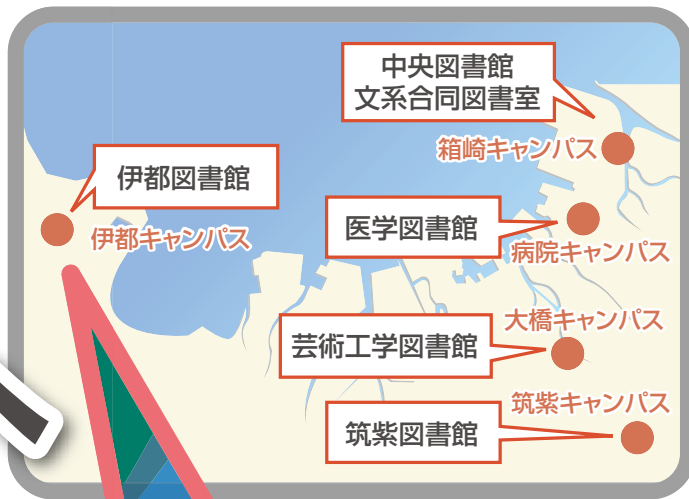
きゅうと

VOL. 4

NO.1

2009.4

ようこそ!! 九州大学 附属図書館へ



4Fの学習・交流スペース
「おうめい 櫻鳴天空広場 Q-Commons」も
のぞいてみてね!

CONTENTS

- 館長からのメッセージ
- 九州大学附属図書館へようこそ
- まずはきゅうとOPACから覚えよう!
- こんなときは、図書館ウェブサイトのここにアクセス!
- きゅうとMyLibraryに登録しよう!
- 図書館員のおしゃべりコラム

図書館を “いかに利用するか”で、 あなたの“学び”が変わる!

附属図書館長 丸野 俊一



大学での“学びの場”は、実に様々な状況が考えられますが、自分のペースで自分が納得できるまで、多くの参考図書や資料を有効に活用しながら、多面的視点から課題を分析し探求していく上で最も優れた知的空間の一つに図書館があります。「教育・研究水準の高い大学ほど図書館が充実している」と言われる所以も、まさに、ここにあります。

九州大学附属図書館では、この10年近くに渡り、“図書館は研究・教育の営みが自由闊達に遂行できる学習環境の核でなければならない”という精神のもとに、学習機能と研究機能の充実に取り組んで来ました。学部学生用の指定図書や参考図書、辞典やハンドブック、貴重な歴史資料などの充実はもちろんのこと、最新の論文をインターネットから必要な時に瞬時に検索、収集できる電子ジャーナルの充実を図り、そのシステムも整えてきました。今では、九州大学の学生・院生・研究者であれば、研究室からのみでなく自宅からでも電子ジャーナルを気軽に利用できる「どこでもきゅうと」のシステムもできています。こうした内容面での充実だけでなく、学生が図書館に集い、語り合い、学び合う知的交流の場となり得るような学習環境作りにも力を注ぎ、個人レベルから数人のグループディスカッションができる学習ミーティングルーム、さらには学生生活について気楽に語り合い、情報共有や相互啓発を図るリフレッシュルームもできています。九州大学附属図書館を来館される外部の大学関係者の多くからは、九州大学附属図書館の内容面での充実度や学習環境の整備度の高さに対して、高い評価の声を載せています。

伝統ある最高学府としての九州大学で“学びたい”という高い志を持って入学された皆さん、皆さんが基礎教育や専門教育を学ぶ伊都キャンパスには、箱崎キャンパスにある中央図書館と有機的な連携を結び、皆さんに手厚い学習支援やサービスを行う伊都図書館や「嘯鳴天空広場 Q-Commons」があります。テーマや図書や資料を前にして、ものの見方や考え方や価値観の異なる人との真剣な対話の場は、“新たな知が創出される創造の泉”です。その意味では、自分なりの問題意識をもって、“集い、語り合う、学び合う、知的交流の場”として、図書館を積極的に活用して載きたい。そうすれば、きっと、きっと、皆さんの“学問追求の姿勢や態度や「学び」”に変化が生じ、大学生活が夢膨らむ有意義な自己実現の場になることでしょう。心から期待しています。

九州大学附属図書館

1. 図書館へ行ってみよう



Q. 図書館へはどうやって入るの?

- A.** 入口にある入館ゲートの右側(黒い読み取り面)に学生証裏側のバーコードを軽く当てるとゲートが開きます。
ゲートを通して、いざ図書館の中へ!

ココにも注目!



ひとりでも グループでも 勉強できる空間

図書館には、「研究個室」や「グループ研究室」などの施設もあります。ひとりで集中して調べ物をしたり、大きな机を囲んで友達と一緒に勉強したり、様々な使い方ができます。

伊都図書館はココもすごい!

●カフェができました

図書館ロビーに、カフェ「Libca(リブカ)」ができました。コーヒーや軽食などがあります。ゆっくりしたいとき、友達とおしゃべりしたいときは「Libca」へどうぞ!

●ICカード学生証にも対応しています

平成21年度新生の学生証はICカードになっています。バーコード対応、ICカード対応、どちらのゲートでも入館ができます。



とっても便利な九大図書館。ぜひ一度足を踏

館へようこそ

九州大学附属図書館では約390万冊の図書・約8万5千タイトルの雑誌を所蔵しています。また、4万タイトル以上の電子ジャーナルにアクセスできる日本でもトップクラスの大学図書館です。

2. 本を探してみよう

まずは「きゅうとOPAC」で本を調べて、探しにいきましょう(詳しい使い方は次ページへ)。



Q. 読みたい本が他のキャンパスの図書館にあったら?

A. 最寄りの図書館へ取り寄せることができます。「きゅうとMyLibrary」に登録しておけば、きゅうとOPACの検索結果から直接申し込むことができます(登録方法は裏表紙へ)。カウンターでも取り寄せを申し込むことができます。早ければ翌日には本が到着します。

Q. 探している本が見つからない…

A. そんなときは、気軽にカウンターの職員に訊いてみてください!

Q. 読みたい本が置いていない…

A. 読みたい本が図書館に所蔵されていないときは、図書の購入をリクエストすることができます。リクエストが通れば、図書館が蔵書として購入します。読みたい本が貸出中の場合は、予約をすることができます。

3. 本を借りてみよう

Q. 本を借りるにはどうしたらいい?

A. 学生証と借りたい本を持ってカウンターへ。自動貸出機も使ってみてください。



☆図書館は分野ごとに本を並べています。興味のある分野の棚周辺を歩いてみてください。思いがけず、おもしろい本を発見できるかもしれません。

図書館は本の宝庫。でもそれだけではありません。



充実した図書館ウェブサイト (詳しくはカラーページへ)

図書館に行かなくても、ウェブサイトからいろいろなことができます。

☆いつでもどこからでも本を探せるし、論文情報や辞書などのデータベースも使えます。

☆予約、取寄、貸出延長、購入リクエストもできます。

新入生のみなさんがよく使う「伊都図書館」にはこんな特色があります!

●探しに行かなくても本がやってくる自動書庫

伊都図書館の資料の約60%は「自動書庫」に入っています(2009年4月1日現在)。コンテナに整然と並ぶ本が、パソコンからの要求で自動的に出納ステーションに届きます。

きゅうとOPACで検索して、場所が「自動書庫」になっているときは、探しに行くことなく、カウンターで受け取ることができます。

取り出しリクエストは、カウンターにあるパソコンからできます。



地下の見学窓から、実際にコンテナが動く様子を見ることができます。

伊都図書館は、今年2・3Fを増築し、10月にリニューアルオープンします。永く快適に利用していただくためにお願ひがあります。

- 飲食は指定の場所で
- 携帯電話はマナーモードに
- 通話は指定のエリアで
- 書架や学習ゾーンではお静かに
- 机や椅子の扱いは丁寧に

図書館はみなさんのものです。資料や建物だけでなく、公共マナーも、過去から未来に受け継いでいく大事な財産です。新しい図書館がいつまでも新しく快適であるように、現在のみなさんが未来の九大生に引き継いでいってください。



踏み入れて、その目で確かめてみてください!

図書館の個人向けサービス **MyLibrary** に登録しよう！

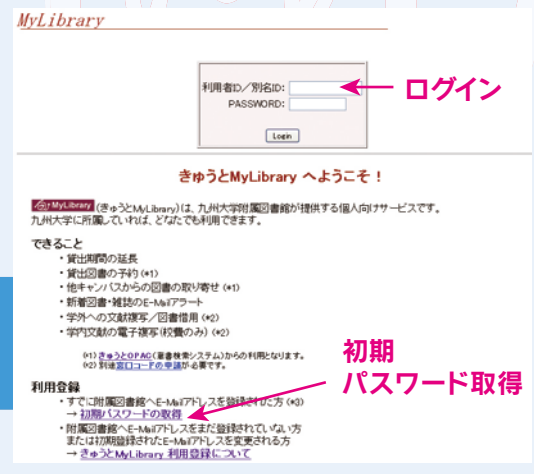
きゅうとマイライブラリー

きゅうとMyLibraryに登録すると…

- あー、借りた本、まだ読み終わってない…そうだと延長しよう。
- あれっ、いま何冊借りてたっけ？ちょっと確認…。
- 読みたい本が他のキャンパスにあるなー。よし、取り寄せよう。
- 九大にない文献を他大学から取り寄せよう。(有料だけど)

こんなことが、Webで自宅からでもできるんです。

図書館ウェブサイト > 学習研究サポート > **MyLibrary** へアクセス!



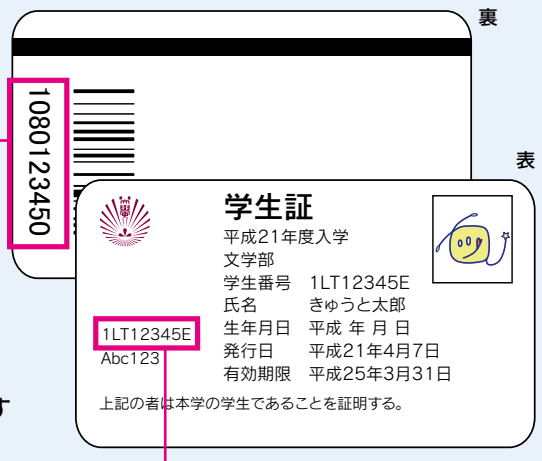
① 初期パスワードを取得

パスワード新規登録

利用者IDとメールアドレスを入力してください。

利用者ID:

メールアドレス:



1LT12345E @s.kyushu-u.ac.jp
※教育情報サービスのメールアドレスです

② 初期パスワードがメールアドレスに届きます。それを使ってログイン!

※初期パスワードはログイン後、変更できます

※H18年度以降入学の学部生・大学院生の方は、教育情報サービスで付与されるE-Mailアドレスが初期登録されています。それ以外の方は、カウンターでE-Mailアドレス登録申請が必要です。

図書館員の **おしやべり** コラム

伊都図書館の増築工事もいよいよ本格的になり、図書館内の各所で工事用のシートが敷かれ、作業している業者の方をあちらこちらで見かけるようになってきました。六本松図書館から運ばれてきた図書や設備の搬入作業も並行して進められていて、まずは慌しく4月にかけての準備を行っているところです。

建物は10月にお披露目となるため、4月に工事の姿を目にする新入生の方はすこし面食らうかもしれませんが、ちゃんと開館していますので是非足を運んでみてください。

特に学部の新1年生の方は、ほとんどの方にとってこれまでの学校図書室とは比較にならない規模の広さだと思います。他記事で紹介済のように、九大図書館では効率的な学習や調査に活用できるウェブサービスも展開していますが、数多くの図書の中からの思いがけない1冊との出会いも、また図書館の醍醐味です。これから変貌していく図書館を、ぜひ自分で体感してってください。

(伊都図書館 D.M.)

